

令和8年度第3回富士見市アンケートモニター調査

1 調査設計

調査対象：富士見市アンケートモニターに登録された市民等718名

調査時期：令和8年7月3日（金）～7月10日（金）

調査方法：Web 調査

2 回収結果

配布数：707名（メール到達件数）

回収数：217名

回収率：30.7%

3 表記方法について

- ・表の（n）という表記は、当該設問の回答者数を表します。
- ・割合は、各設問の回答者数（n）を母数として算出しています。
- ・割合は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

4 調査結果

問1. 市役所に市民相談、弁護士相談、女性相談などの相談窓口があることを知っていますか。

（担当：人権・市民相談課）

回答（n=217）	n	割合
知っている（利用したことがある）	36	16.6%
知っている（利用したことはない）	105	48.4%
聞いたことはある	30	13.8%
知らない	46	21.2%

問2. 市役所に消費者トラブルに関する消費生活相談の窓口があることを知っていますか。

（担当：人権・市民相談課）

回答（n=217）	n	割合
知っている（利用したことがある）	12	5.5%
知っている（利用したことはない）	98	45.2%
聞いたことはある	35	16.1%
知らない	72	33.2%

問3. 人権について、どのように考えていますか。

（担当：人権・市民相談課）

回答（n=217）	n	割合
すべての人に関わる大切な問題	191	88.0%
関係ある一部の人の問題	15	6.9%
自分とは関わりがない問題	4	1.8%
わからない	7	3.2%

問4. 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。

(担当：人権・市民相談課)

回答 (n=217)	n	割合
同感する	6	2.8%
同感しない	147	67.7%
どちらとも言えない	64	29.5%

問5. 「男女共同参画の社会づくり」への取り組みに対する重要度について、どう思いますか。

(担当：人権・市民相談課)

回答 (n=217)	n	割合
非常に重要である	71	32.7%
重要である	102	47.0%
少し重要である	31	14.3%
あまり重要ではない	11	5.1%
重要ではない	1	0.5%
全く重要ではない	1	0.5%

問6. 男女がともにあらゆる分野に積極的に参画し、活躍できるためには、社会全体がどのようなことに取り組む必要があると思いますか。(あてはまるものすべてを選んでください)

(担当：人権・市民相談課)

回答 (n=217)	n	割合
男女ともに仕事や家事・育児・介護を担う意識の啓発を行う	158	72.8%
仕事と生活が両立できるよう、保育・介護にかかる施設・サービスを充実させる	167	77.0%
労働時間の短縮、在宅勤務やフレックスタイムの普及など、多様で柔軟な働き方ができるようにする	148	68.2%
育児休業・介護休業制度を取得しやすい職場環境づくりをする	139	64.1%
育児休業・介護休業中の手当でその他の経済的支援の充実をする	108	49.8%
出産・育児で離職した女性の再就職や起業などができるよう、仕事に関する情報の提供や支援をする	112	51.6%
配偶者・パートナーまたは恋人からの暴力の防止と被害者の支援をする	89	41.0%
職場・地域におけるセクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント、パワー・ハラスメントなどの防止と被害者の支援をする	97	44.7%
国・地方公共団体における審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性が増えるようにする	82	37.8%
民間企業・団体等の管理職に女性が増えるようにする	67	30.9%
男女共同参画に関する情報提供、学習の機会を充実させる	67	30.9%
女性のライフステージ(妊娠・出産等を含む)に応じた健康づくりの支援をする	81	37.3%
特になし	2	0.9%
わからない	1	0.5%
その他(自由記述)	13	6.0%

※その他の理由（自由記述）原文のまま記載

意思決定の場に男女を入れる
男女に関わらずではあるが、人には得意不得意があるものであるから、それに応じて活躍できる仕組みが必要。近所という枠を拡大して、インターネット等で比較的近い人にお手伝いやお願いが気軽にできる環境整備が欲しい。市主導で、一旦登録のお願いの告知などを送って、認知を高める必要性などはある。勿論トラブルは発生するが、それを見込んででもやること、参加する事に意味がある。と思う。
女性も昇進しやすい会社にする
各人の判断で強制するものでも推奨する事でも無い
例えば、産前休暇の制度も何十年も前に決められたまま、実際に妊婦が妊娠後期まで通勤して通常勤務する大変さに理解があるとは思えないように、当事者、経験者、現場レベルでの理解ある支援が必要
男性の意識改革
質問の主旨は理解できるが、富士見市はもっと他にやる事があるはず。今回のアンケートと悪く無いが偏った質問は困る。
男女にかかわらず、その人に合った仕事、暮らしが出来る社会の実現
管理職等、女性だからと言って体裁的に増やしてはならない。男女共、能力重視。
国がルールを決めないと、一部の大企業だけしか実現できないと感じる
子育て世帯以外の世帯を安定させる事
働きたい女性、育児に専念したい女性/男性といった多角的な視点に応える支援をしてほしい。
支援ではなく行政の決め事監視介入指導環境作り 民間は民間で努力が必要

問7. 男女共同参画にかかる富士見市の取り組みや、次にあげる言葉について、見たたり聞いたたりしたことがありますか。

(担当：人権・市民相談課)

回答 (n=217)	知っている	見たことや聞いたことはある	知らない
富士見市男女共同参画推進条例	26	80	111
富士見市男女共同参画プラン	20	64	133
男女共同参画ひろば「いっぽいっぽ」	8	47	162
男女共同参画講演会・セミナー	13	58	146
富士見市パートナーシップ宣誓制度	30	56	131
ジェンダー	117	49	51
性別役割分担意識	47	49	121
ワークライフバランス	104	48	65
LGBT などの性的マイノリティ	113	49	55
デートDV	79	50	88

問8. 防災・災害復興対策で、配慮して取り組む必要があるものは何だと思いますか。（3つまで選んでください）

（担当：人権・市民相談課）

回答（n=217）	n	割合
授乳室や男女及び多様な性に配慮したトイレ、物干し場、更衣室を設ける	141	65.0%
女性用品について、女性の担当者からの配布や、専用スペースに常備する	111	51.2%
女性や子どもに対する暴力（性暴力を含む）防止のため、暴力を許さない環境づくり	121	55.8%
被災者に対し、保健師や男女両方の生活支援員等の巡回訪問を行う	73	33.6%
防災計画や、防災会議、対策本部へ女性を配置し、対策に女性の視点が入る	110	50.7%
わからない	4	1.8%
その他（自由記述）	11	5.1%

※その他の理由（自由記述）原文のまま記載

設問が女性に偏った取組と感じる
女性だけに特化したことはありがたいが、特化しすぎるのはなんか違和感を感じてしまう
被災時のモデルケースを事前講習、もしくは当日でも講習できるとその後に発生する課題をそれぞれ認識できる人はできそう。被災時に職員だけが様々な負担を抱えず、市民が気軽に手伝える環境整備や講習、事前登録があるとよい（支援品の開梱などがイメージとしてある） 比較的被災の度合いが浅かった人が気軽に避難所に手伝いに来れる仕組みがあると参加しやすい
綺麗なトイレ
女性や子どもに対する暴力とあるが男性への暴力は考えないのか？
税金の無駄使いはしない
非常時に「逆差別」が発生しにくい「公平」な取り組み全般
的を得た問いを願いたい。
ペットの扱い
火事場泥棒対策
ペット同伴の避難所を作る